

資料名	いつわりのバイオリン	出典	自分をみつめる
主題名	弱さの克服	内容項目	3－(3)
日時		学年	1年

○ 主題設定の理由

・ 中学生の時期は、人間が内に弱さや醜さをもつと同時に、強さや気高さを併せてもっていることを理解することができるようになってくる。しかし、なかなか自分に自信がもてないでいるだけに、劣等感にさいなまれたり、人をねたみ、恨み、うらやましく思ったりすることもある。また、一方では、崇高な人生を送りたいという人間のもつ気高さを追い求める心もある。

本校生徒は1小1中で、個人に対するイメージが固定化し、反対に自分自身が自分の殻を破ることができないでいる傾向にある。

したがって、自分を含め、人はだれでも人間らしいよさをもっていることを認めるとともに、決して人間に絶望することなく、だれに対してもその人間としてのよさを見出していく態度を育てることが大切であると感じ、本主題を設定した。

・ 本学級は、全体的にはのんびりとした優しい生徒が多い。しかし「1学期の個人反省」で「クラスで1学期に1番頑張っていた人」という欄では、書けない生徒がクラスの4分の1で、周囲をよく見ていない生徒が多かった。「自分はクラスのみんなからどんな風に思われているだろう」という欄では32人中17人が「わからない」もしくは空欄であった。書いていた生徒も「うざいと思われている」「存在感がうすいと思われている」と、自分に自信がない様子であった。また普段の生活では全体的に失敗や間違いを悪いことと考える傾向にある。

・ 本資料は誠実なバイオリンづくりの師匠フランクが、弟子のロビンが作った作品を自分のものと称して著名な演奏家に提供してしまう。フランクの弱さ醜さが心に宿る人間のありのままの姿を見ることができる。自らの行為を悔い、良心の呵責に苦しむフランクの姿を通し、人間の心の深層をのぞきながらねらいに迫る資料である。日頃の自分を振り返ることで、自分を含め誰でも失敗や、間違いがあることを認識させ、認め合いながら人間関係を構築させ、人として生きることの気高さに気づかせたい。そして、自然教室でもお互いに補い合い、お互いのよさを認めることができるような行事になるようにつなげていきたい。

ねらい 誰もがもっている人間らしいよさを認め、弱さに負けず、自分に恥じない生き方を見いだそうとする心情を育む。

資料準備物 資料、道徳ノート、懐中電灯、バイオリンのイラスト、フラッシュカード

板書計画	<p>いつわりのバイオリン めあて 人間のよさと、弱さの克服</p>	<p>（手紙）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち直り ・ 本来の自分を取り戻す 	<p>（演奏後）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後悔 ・ 自己嫌悪 ・ 迷い 	<p>（すりかえ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 迷い ・ 弱さ ・ 欲 	<p>（弟子入り）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳格 ・ 誠実 ・ 熱心 	<p>フランク</p>	<p>ロビン</p>
	<p>ロビンの思い ← フランクの気付き 涙</p> <p>ロビンに手紙をしたためる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間としての誇りを取り戻してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心配 ・ 師匠への愛情 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 失望 ・ 軽蔑 ・ ショック 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尊敬 ・ 信頼 ・ あこがれ 		

【展開】

	学習活動・内容, 生徒の反応	支援を主にした働きかけ	配時
導	<p>1 本時の資料とめあてを知る。</p> <p>資料を読みます (途中まで範読する)</p> <p>弟子のロビンはフランクをどう思っているだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まじめな人 ・弟子を大事にする人 ・仕事に対して誠実な人 ・技術がある人 ・あこがれている ・尊敬している ・フランクの1番弟子だ 	<p>○めあてを掲示する。</p> <p>○ロビンはフランクをどう思っているかを考えさせることで、フランクの誠実な人柄を意識させる。</p>	8分
展	<p>2 資料を通してフランクとロビンの心の変化を考える。</p> <p>資料を読みます (途中まで読む)</p> <p>バイオリンの音色に、息が止まるような衝撃を受けたロビンはどう思っただろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うそだ。何かの間違いではないか。 ・これは師匠のバイオリンではなく僕のバイオリンの音だ。 ・まさか、師匠がこんなことをするなんて。 	<p>○ロビンを通してフランクの人間としての弱さに気付かせる。</p>	30分
開	<p>資料を読みます (最後まで読む)</p> <p>手紙を通じてロビンが送った思いと、受け取ったフランクが流した涙のわけを考えてみよう。</p> <p>《ロビンの思い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前のような厳しく熱心な師匠に戻ってほしい。 ・間違いはあったけど、師匠のことだからとても悪いと思っているに違いない。もう僕は気にしていないから、師匠も頑張ってほしい。 ・尊敬している気持は変わることはありません。ぼくはいつまでもあなたの弟子です。 <p>《フランクの涙のわけ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が恥ずかしくフランクに謝らなければならないと思った ・自分を責めないロビンに自分の愚かさを感じ良心に恥じない生き方をしなければと思ったから。 ・昔の誇り高く誠実な自分を思い出したから。 ・許してくれたロビンの優しさに感謝した。 	<p>○フランクの涙を通して、人の弱さを受け止め許したロビンと、自分の悪かったことを反省し再び前に進もうとするフランクの生き方を考えさせる。</p> <p>○机間巡視をして生徒の意見を把握し、もし発表がでないときは指名する。</p>	
終末	<p>3 今日の授業を通して自分の日頃の姿を振り返る。</p> <p>自分はずるいことをしたことはないだろうか</p> <p>感想と評価を書きましょう。</p> <p>感想の紹介とまとめをします。</p>	<p>○自分を振り返らせ、自分の弱いところやずるい所を日常生活から意識させ、克服していこうというまとめを行う。また、自然教室につながる話をする。</p> <p>○生徒の反応をみながら生徒が理解したか確認する。</p>	12分
関連	<ul style="list-style-type: none"> ・自然教室 ・日常の人間関係 		